

家庭菜園相談室

家庭菜園 Q & A

Q1

タマネギの追肥はいつ頃に行うと良いですか？また、マルチを敷いている場合はどのようにすれば良いですか？

A1

タマネギの追肥時期は、品種によって異なります。

品 種		追肥1回目	追肥2回目
早生品種	ソニックなど	12月中旬～1月上旬頃	2月上旬～2月中旬頃
中晩生品種	O・K黄、アンサー、ターザン、もみじ3号など	1月下旬～2月上旬頃	2月中旬～2月下旬頃

追肥を3月以降に行うと、タマネギが急速に生長します。大きくなりすぎたタマネギは、しまりが無く腐りやすいため、暑い時期を超えて貯蔵することが難しくなります。特に、中晩生品種は貯蔵する目的で栽培されることが多いので、追肥の時期に注意します。

また、追肥の量は化成肥料(N:P:K=8:8:8)で50g/m²程度を目安にします。

マルチを敷いている場合でも、マルチの上から同様に施肥します。雨で溶けて穴の中に肥料が流れ込みますので、マルチを巻き上げて施肥する必要はありません。

Q2

作物に適した土壌の酸度について教えてください。

A2

作物の多くは土壌の酸度に敏感に反応し、その好適酸度は品目によって異なります。

酸度が合わないと、生育不良を起こしやすくなるので、作物ごとの好適酸度を知ることが大切です。

作物を栽培していると、①作物が石灰成分を吸収する。②与える肥料に酸性のものが多く。

③降雨や灌水により石灰成分が流出する。などの影響により、土壌が酸性化します。

したがって、毎年2回ほど、作物の栽培が終わったら畑全面に消石灰や苦土石灰を散布し、土壌の酸性化を防ぐと良いでしょう。生育が悪く、酸度が懸念される場合には、土壌酸度(pH)を測ることをおすすめします。

土壌酸度(pH)							
酸性		弱酸性		中性	弱アルカリ性	アルカリ性	
5	5.5	6	6.5	7	7.5	8	8.5

pHに対する反応	好適pH	主な作物
酸性に弱い (石灰分を必要とする)	6.5～7.0	ハウレンソウ、アスパラガス エンドウ
酸性にやや弱い (石灰分をやや必要とする)	6.0～6.5	キュウリ、メロン、スイカ トマト、ナス、トウモロコシ ニンジン、ゴボウ、タマネギ キャベツ、カリフラワー、ブロッコリー レタス、セルリー、インゲン
酸性にやや強い (石灰分は必要に応じて散布する)	5.5～6.0	サツマイモ、サトイモ、ハセリー、ショウガ ジャガイモ、ダイコン、カブ

土壌pHを知りたい場合は、土壌を採取し、営農経済センターまでお気軽にご相談ください。

土壌の採取方法

- ① 地表面を1^{cm}程度削り、その下の作土を10～20^{cm}程度、均等の厚さで採ります。
- ② 畑の5カ所から500^gずつ採取して、よく混合し、約1週間しっかり乾燥させます。
- ③ 乾燥させた土は、細かく砕いた後、1～2^{cm}のふるいにかけてみます。
- ④ ふるった土200^g程度をジップ袋などに入れお持ちください。



詳しくはこちらから！

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。